

http://www.minamih.net/



13・4・20(土)  
南NEWS NO 6

### 東京都4年生大会 12ブロック予選

2013年4月14日(日曜日) 会場：文化大グラウンド

〇めあて：技・ターンを使ってドリブル突破。素早いアプローチ。

- ・1 試合目：南八王子0-2 潤徳ガルーダ 前半0-1
- ・2 試合目：南八王子SC 0-2 ARTE 豊田 前半0-1

残念ながら予選敗退となってしまいましたが、皆が日頃から練習している技やターンを使い、ドリブル突破を試みており、個人としての成長を見る事ができました。

しかし、誰かがチャンレンジしているプレーを見ていて、カバーやフォローが出来ていない場面が多く、あと1歩でチャンスをもものに出来そうな場面を逃してしまっていました。

これからはチームも成長できるよう、声を掛け合い、助け合い、励まし合ってGAMBAっていきましょう。

個人のプレーでは、坂本君がロールから相手をかわしてスピードに乗ったドリブルからのシュート。松林君の相手やボールを怖がらない体を持ったプレー。読みの良さとお歩目のスピードがある豊嶋君のインターセプトからのドリブルシュート。大澤君のダブルタッチやインターセプトからのドリブルシュート。視野の広い西條君のコーチング。何度もピンチを救ったナイスセーブの高田君。

これからも最後まであきらめず、もっともっとGAMBAっていこう!!!

b y 大澤コーチ

土日の練習・午後練をGAMBAっている子どもたちはレベルの高い個人技を發揮していました。しかし、相手守備陣を突破して得点を取る、クロスを入れてアシストをするというレベルにはもう少しです。

1対1の技術をもっと磨きましょう。一生懸命練習していれば必ずその努力は大きな実を結びます。南の先輩たちもそうだったのです。

まだ5年生・6年生と都大会にチャレンジする機会があります。GAMBAりましょう！ 次は勝てるよ!!!

b y 南のアンパンマン

### 退部させますよ！！

矢上にノーヘルで自転車に乗ってきているの注意されたにもかかわらず、昨日の午後練にもノーヘルで自転車に乗ってきた子がいます。

南のルールを守れない子は退部してもらいます。

### さわやか4人組！！

午後練が終わってつくり坂を自転車を押して帰る時には4人の女の子。1人は徒歩、3人は自転車。みんなヘルメットを被っています。

踏切を過ぎたところの4人に「お姉ちゃん、お兄ちゃんによろしくね！」と言ったら「ハイ！」という全員の気持ちよい返事！爽やかな気分で自転車をこいで帰ることができました。 b y 南のアンパンマン

### 漢字練習ノート

最後までGAMBAって終わった子が提出してくれたノートを矢上が見ています。右のようなコメントを最終ページに書いてひと言添えて返しています。

国語はすべての学びの基、という著作が最近出されています。矢上もそう思います。

豊富な読書の量は国語力を確かなものにします。情報を豊かにして、判断力・思考力をより確かなものにしてくれます

漢字を先人の知恵・文化として学ぶことも読書力・国語力の基本になるのです。

矢上の記憶では漢字嫌いの子に読書好きの子はいませんでした。

さいごまでしっかりGAMBAり  
ましたね!  
2年生になってもべんきょうと  
サッカーをGAMBAってくださいね!



b y 矢上

### 次の朝日の社説も子育ての参考になります。

2013・4・19

#### 朝日・朝刊・社説

## 就活する君へ 力をためる時間が要る

大学生活はどうか。君の先輩たちは企業からの電話待ちでおちつかない毎日だろうか。

就職活動の解禁を今より3ヵ月遅らせて、3年生の3月にしたい。安倍首相が経済団体に要請する。ニュースを聞いて君はどう思った？

3年間は勉強や学生生活に打ち込めるようになるね。

ただ、長い目でみると、もっと根本的に就活のありかたを見直したほうがいいと思う。

これからは、与えられたものをこなすより、自力で問題を解決する変革の力が要る。そこは大学も経済界も一致している。新興国に追われる立場の日本は付加価値をつけた商品やサービスで勝負するしかない。

ところが、学生は勉強時間が少なすぎて思考力が育たない。在学中は学びに集中できるように就活に奪われる時間をへらした

い——。政府が解禁時期の後ろ倒しを企業側に働きかけてきたのは、そのためだ。

高校では大学受験、大学では就活。君たちはいつも今やりましたことより、先の対策に追われればかり。これで自分の考えや個性を持てとは酷だ。

これからは、会社が社員の訓練や能力開発に責任をもつてくれる保証はない。正社員にさえなれば、定年まで年功序列。そんな道筋は崩れている。

正社員の解雇規制緩和を政府が論じているでしょ。人材のほしい業界へ、過剰になった業界から即戦力を移しやすくする。そうなれば、企業は一から自分で若手を育てなくていい。厳しければいい時代だ。

だから君たちには必要な能力を自分でみかく時間が要る。小手先の就活対策より考える力をきたえないと。労働法制の

ような身を守る大切な知恵も。それは大学の責任でもある。企業はとうして新卒にこだわ

るのだろう。既卒者の採用が普通になれば、大学でたっぷり学んだうえ卒業後に留学やボランティアもできる。骨太な新戦力を雇えるのに。就職が遅くなれば親の負担は増すけれど。

就活の意識調査をしたNPOライフリンクの人から、ある就活生の言葉を聞いたんだ。

就活とは、ルールがわからないまま一人で参加するゲーム。「リクルーターはいない」と言われたのに、他大学の子には付いた。そんな大人たちの反則行為をみて、若者は社会に出る前から社会に不信を抱く——。やりきれない分析だった。

就活で問われるのは学生の資質だけではない。私たち大人の公正さもみられている。そう心にききみたい。